

社会福祉協議会からのお知らせ

■助成事業のご案内

隠岐の島町共同募金委員会では、赤い羽根共同募金を財源に、地域活動に活用できる助成事業を実施しています。



『安心づくり助成』

地域における生活課題などの解決のために取り組まれる多様な活動に上限5万円/年を助成します。



取り組み例

- 独居高齢者宅の見守り、声かけ、配食訪問活動
- ちよつとした困りごと(電球の交換や家具の移動など)の助け合い活動
- 自主防災組織の立ち上げや避難訓練などの防災活動 など

『交流づくり助成』

自治会等が主催する敬老会や交流会に参加した75歳以上の方や障がい手帳をお持ちの方に1人当たり700円を助成します。年に1回のみです。

※一次募集(3月末日×)で予算に達した場合、二次募集は行いません。

『ふれあいサロン助成』

身近な場所で定期的集い、茶話会や体操、ゲームや勉強会などのサロン活動を行う団体に2万5千円/年を交付します。

それぞれ助成内容が異なります。

詳しくは、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。2-0685までお問い合わせください。

地域活動のご紹介①

目標は「元気で長生き港町」

【港町自治会 健康福祉部】

港町自治会の概要

港町は、八尾川と西郷湾に囲まれ、漁業のまちとして発展してきました。町の玄関口として、ホテルや旅館などが立ち並び一方、昔ながらの街並みも残っています。昨年引退した元隠岐の海、現君ヶ濱親方の出身地区としても有名です。



港町自治会は、17の区に約380世帯660人が住んでおり、町内で最も規模の大きい自治会です。平成の初め頃までは人口も多く子どもたちもたくさん住んでいましたが、他の地域に比べ少子高齢化が進んでいます。

健康福祉部の取り組み

港町自治会では、現在8つの部会を設置し自治会運営を行っています。

その中でも区民の健康づくりを推進する健康福祉部について紹介します。

設立のきっかけは、約30年前に旧西郷町の役場から「高血圧対策事業」のモデル指定を受けた事でした。

婦人部を中心に、各家庭の醤油や味噌などの使用量を計ったり、バランスの良い食事や減塩など、高血圧につながるリスクを下げするための生活改善に取り組みしました。

活動を続ける中で、住民の健康づくりや高齢者の介護予防に継続して取り組もうとの声が上ががり、平成8年、「子どもからお年寄りまで元気であききに暮らせる港町」をスローガンとして掲げ、健康福祉部が発足しました。

現在の活動ですが、高齢者を対象にサロン「よらあ会」を月に1回開催しています。血圧測定の後、軽スポーツやゲーム、その他四季折々の企画で閉じこもり防止や健康維持のお手伝いをしています。

よらあ会のお知らせ

草木の新芽が萌え出す頃と成りましたが、皆様には如何お過ごしでしょうか。

日時 3月6日「水曜日」13時30分～

場所 港町集会所

対象者 65歳以上

内容 血圧測定、ゲーム、茶話会、等です。

皆様お誘い合わせの上お出掛け下さい。

「マスク」を忘れない様に、お願い致します。

「健康福祉祭のお知らせ」

日時 3月17日

内容 詳しくは、追ってお知らせいたします。

皆さんで誘い合ってお出掛け下さい。

スタッフ一同お待ちしております。

「付きますは3月の健康教室はお休みとさせていただきます」

「マスク」を忘れない様に、お願い致します

主催 港町自治会健康福祉部、港町公民館

後援 隠岐の島町夜間保健課

協賛 隠岐の島町食生活改善推進協議会港町支部

▲80代男性参加者が作成したチラシ

また、毎年3月に行う港町健康福祉祭は、地区内外から多くの人で賑わいます。

健康に関する講演会や作品展などを行います。今年も、今年度は近年縮小していたバザーや振る舞いなどを復活させ、盛大に開催する予定となっています。

80歳以上の世帯へ配食活動

そんな中、令和3年度から新たに始めたのが**高齢者宅への手作り弁当**のお届けです。長く続いた感染症の影響で退屈な日々を過ごしていた高齢者の方に、少しでも明るく過ごしてほしいという思いから始めました。実施にあたっては、様々な団体と共同しました。

お弁当作りや配食は、食生活改善推進協議会や自治会役員及び健康福祉部、民生児童委員の方々に協力いただきました。



お弁当のメニューは、あとで自分で作れるよう工夫し、ちよつぱり減塩ながらも味も良く、彩り豊かなお弁当となりました。

80歳以上の独居及び夫婦世帯に約100食のお弁当を届け、受け取った方からは、「ありがとう、美味しかった!」「弁当が届くのを楽しみにしていた!」など、たくさんの嬉しい声が聞かれたそうです。

今年も2月に実施され、100名分のお弁当を作られたそうです。今後も、子どもからお年寄りまで元気であききに暮らせるよう、健康福祉部の取り組みを進めていくそうです。



地域活動のご紹介②

無理なく見守り黄色い旗運動

【栄町2区町内会】

栄町2区町内会の概要

栄町2区町内会は、55世帯、約140人が住んでおり、高齢化率はおよそ26%と低く、子育て世代が多く住んでいる地域です。
 町部の小中学校が近いこともあり、近年、若い世代の多くが家を建て、移り住むようになりました。

取り組みのきっかけ

町内会では、以前からどんど祭りや七夕、健康教室など、子どもたちを中心に住民が集う様々な行事を行ってきました。

しかし、令和2年8月に起きた豪雨災害により、地区内の住民宅や集会所が土砂で埋まるなど、大きな被害を受けました。それからしばらく経ち、土砂災害の警戒区域外の場所に集会所が建設され、区民の集いの場として活用されています。



▲土砂が流れ込んだ集会所や地域内の様子

ふれあいサロンと見守り活動

栄町2区町内会の集会所で特徴的なのは日中集会所を開放していること。マッサージチェアやエアロバイクなどの健康器具を置き、いつでも使えるようにしています。

令和5年度からは集会所でふれあいサロン「船原いきいきサロン」も始めました。高齢者の健康づくりや介護予防、つながりづくりに併せ、子ども会と共同し、異世代交流を兼ねるなど、工夫した活動を行っています。



▲サロンの様子（健康教室・会食）

また、以前に地区内で孤独死が発生したことから、現在、高齢者の見守り活動「黄色い旗運動」に取り組んでいます。

これは、高齢者自身が朝起きたら黄色い旗を玄関に掲げ、夕方になると旗をしまい、それを近隣の方が見守る、というものです。見守る側も見守られる側も、お互い無理なく取り組める活動です。

まだ始めたばかりですが、自分たちができることを少しずつ地区内に広げていき、安心して暮らせる地域づくりにつなげたいと考えているそうです。



■シルバー人材センターからのお知らせ

シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的、または軽易なお仕事をご家庭や事業所などから引き受け、会員の皆さんに提供しています。

町内にお住まいの60歳以上の方で働く意欲がある方はどなたでも会員になれます。（年会費は1,000円です。）

報酬は、草ぬきだと、1時間あたり1,200円をお支払いします。刈払機やトリマーなどを使用する場合には1回あたり1,000円を追加してお支払いします。

特に、春から秋にかけてご依頼をたくさんいただくため、刈払機が使える方、墓掃除ができる方、簡単な剪定や庭木切りができる方を大募集しています。



作業日時は、ご家庭からの除草等の依頼だと、平日の9時から16時30分の間で数時間程度です。

ホテルや旅館、福祉施設などからの依頼だと、平日以外の就業もあり、お昼や夕方に1,2時間だけ、というようなお仕事もあります。

シルバー人材センターに興味のある方や、話を聞いてみたい方がおられましたらお気軽にお問い合わせください。

（問い合わせ先 3-15333）

■地震体験車のお知らせ

（隠岐広域連合条坊本部）

隠岐広域連合消防本部に3月27日から約1か月間、地震体験車がやってきます。

自主防災組織がある地区も、まだこれからはという地区も、災害への備えとして、ぜひ体験してみませんか？

体験車を希望される団体は、同封の申込書にて隠岐広域連合消防本部 予防課へ直接お申し込みください。

（隠岐広域連合消防本部 2-2307）



【あとがき】

感染症流行下での地域福祉活動を支援するため、令和3年度より「自治会区向けお知らせ」発行してきましたが、この号をもって終了いたします。お読みいただきありがとうございました。



発行・お問い合わせ先

隠岐郡隠岐の島町原田396番地
 隠岐の島町社会福祉協議会
 担当 地域福祉係

電話 2-0685

FAX 2-4517

本会ホームページ
 はこちらから ↓



自治会区向けお知らせ便 第4号

令和6年3月6日
隠岐の島町社会福祉協議会
地域福祉係 発行